



*情報はFacebook「支え合いのまち御来屋」で検索してください。

みんなでやらいや！ 協働のまちづくり

今月は、「支え合いのまち御来屋」と「きばらいや上中山」です。

今年度は10月21日に、「近所による近助」をテーマに防災講習会を行いました。鳥取大学大学院工学研究科の黒岩正光教授の防災講演会の後、予想津波波高の海拔7.4m地点を確認するためにまち歩きを行いました。講演では、津波のことだけではなく、「避難勧告」や「避難指示」などの防災用語の解説、避難指示等が発令された時の行動について学びました。予想津波到達地点の確認では、多くの家が津波で浸水することを目の当たりにし、参加者の表情も真剣になりました。

御来屋地区は海に面しており、海抜も低いことから「津波」に対する備えに重点を置いています。鳥取県津波対策検討委員会によると、大山町には最大7.4mの津波が来るとされています。実際にそのような津波が発生した場合は、国道9号線より北側の御来屋のまちの大部分は浸水してしまいます。もしもの時を想定して、地区住民のみなさんが安全に避難できるように取り組みを進めています。

「支え合いのまち御来屋」 みんなで取り組む防災対策「近所による近助」

○御来屋地区大交流会!!

11月23日に、御来屋地区の交流会「御来屋食事会」を実施しました。幅広い年代層の交流事業は今回初めてでしたが、当日は、約100人が集まりました。まちづくり委員やボランティアの方々には協力いただき、100人分の唐揚げやおにぎりなどを準備し、盛大な食事会となりました。「名和小唄」や「船曳の唄」などの懐かしい歌も披露され、参加者からは、「名和小唄を久しぶりに聞くことができてよかった」「またこのような交流会を企画してほしい」などの感想が聞かれました。

今後も、支え合いのまち御来屋では、住民のみなさんが住んでいて「楽しいまち」「安全・安心に暮らすことのできるまち」を目指して活動を行っていきます。

*支え合いのまち御来屋の広報誌「みくりやタイムズ14号」を町内外の様々な施設に置いています。14号は、「KAIプロジェクト」によるアート作品のお散歩マップを載せています。みなさん、御来屋にお越しください!!